

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>NEW HORIZON Elementary</p>	<p>2</p> <p>東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Starting Out→Your Turn→Enjoy Communication→Over the Horizon→Check Your Steps」と段階を追って目的に応じた学習を展開しながら知識・技能を習得できる構成になっている。 ○Chant や歌が各 Unit にあり、学習内容に合った表現に自然に慣れながら練習することができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元のページの下部に「Small Talk」や「Sound and Letters」等があり、授業で扱いやすい。別冊の参照ページも明示されている。 ○別冊「My Picture Dictionary」には自分が調べた単語を記入するスペースが設けられており、自分が伝えたい表現を積み上げていくことができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Enjoy communication」では、その単元で学んだ表現を使って自分の考えや思いを相手に伝えたり共有したりする活動が設定されている。 ○「Over the Horizon」では、学習内容やテーマをもとに視野を世界へと広げており、学習意欲や関心を高める工夫がある。 ○各単元の冒頭に「Our Goal」や3観点に即した目標が明示されている。 ○各ページに観点到即した振り返り（4段階及び自由記述欄）が設けられている。 ○郷土芸能につながる内容が充実している。また SDGs など今日的な課題を扱い、児童の興味・関心を引く工夫がなされている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Our Goal→Your Plan→Your Goal→振り返り」という流れで、見通しを持ってモデルステップを踏みながら学習を進めていくことができる。 ○「会話を続ける表現例」や会話例に添えられたコメントが良い。 ○教科書紙面自体に豊富な書き込みスペースが設けられている。そのまま児童の学びの記録となり、評価に活かすこともできる。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「Let's try」では英単語にイラストが添えられており、イメージを膨らませながら表現活動に取り組むことができる。 ○巻頭に、5年「日本とつながるわたしたち」、6年「世界とつながるわたしたち」がある。 ○「Map of Japan」、「Map of the World」があり、各地の特色をつかむことができる。 ○別冊の「My Picture Dictionary」は単語を探しやすい工夫があり、教科書と並行して使うことができ便利である。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○4線は第3線が水色、第2線と第3線の間が広がっている。また、「Let's Read and Write」では途中まで点線で英文が書かれている。 ○英語、日本語ともにユニバーサルデザイン書体を使用している。 ○アルファベットを書く初期段階では、モデル字を左利きの児童にも見られるよう配置している。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○5年生で身近なことから日本の紹介へと視野を広げ、6年生では世界のことや世界と日本のつながりについて考えていく構成になっている。 ○「Our Goal」でクラス全体で単元の見通しを持ち、「Your Plan」で自分の言いたいことを考え「Your Goal」で友達と伝え合う流れとなっている。 ○年3回の「Check Your Steps」で、学習した内容を思考ツール等を使って整理して発表することで、表現する力の習得と定着を図ることができる。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">Junior Sunshine</p>	<p style="text-align: center;">9</p> <p style="text-align: center;">開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元冒頭の映像を見て、そのレッスンで学習する英語に触れたり慣れ親しんだりしながら表現を習得する構成になっている。 ○各単元に「Song Book」や「Chant Box」がある。また、各ページ下に「Small Talk」の例示があり、基本的な語彙や表現に触れながら学習を進めていくことができる。 ○レッスン終わりの「Letter Box」や「Sound Box」で、レッスン中の「Sounds and Letters」のまとめができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Lesson の流れがペア→グループ→全体となっている。協働的、対話的な学びを活用しながら、思考力・判断力・表現力につなげていけるよう工夫されている。 ○目的・場面・状況を意識した設問や活動となっている。 ○書く時のポイントや考える視点を3つのキャラクターがアドバイスする形で示されており、学習を進める上でのヒントとなっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の「Goal」やめあてが具体的に示されている。「Goal」に向けてスモールステップを踏んで取り組めるよう工夫されている。 ○ページの右上に単元の何時間目に当たるかが示されており、見通しを持って活動に取り組むことができる。 ○レッスン後には巻末の「Can Do チェック」を使って自己評価を記録し、自らの学びを振り返ることができる。 ○年3回の「Let`s Check」で学習内容の定着を確認することができる。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○冒頭に「前の学年で学習したこと」や「授業で使える20の表現」があり、Classroom English や復習で活用することができる。 ○各 Lesson の最後に「Story Time」が展開されており、世界の文化に触れたり、世界観を広げたりすることができる。 ○単元の最後のまとめでは、自分の気持ちを伝えたりお互いの考えを共有したりできるように工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に学年ごとに「Sounds and Letters」、「表現のまとめ」、「アルファベット・ローマ字表」、各種カード等がある。 ○評価の観点が具体的に示されている。 ○レッスン終わりの「Around the World」に世界の文化や学校生活の様子、SDGs の指標と日本の取組例が示されている。 ○学年別の英語絵辞典「Word Book」があり、絵を見て使いたい表現を探ることができる。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○4線に書く時の手本が太字で示されており、書き写しやすい。 ○配色が落ち着いており、集中して学習に取り組める。書きやすい紙質で、消しゴムで消しても汚くならない。 ○めあてや課題の指示文の語尾が丁寧体になっている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○単元のゴールや小単元のめあて、評価の観点が具体的に示されており、見通しを持って主体的に取り組むことができる。 ○目的・場面・状況を意識した設問や活動になっている。 ○スモールステップを踏みながら、無理なく確実に学びを積み上げていく構成となっている。 ○「Around the World」や「Story time」で世界に目を向け、視野を広げたり、興味関心を高めたりする工夫がある。 	

書名 項目	<h1>CROWN Jr.</h1>	15 三省堂
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1つのUNITが「HOP,STEP,JUMP」で構成されている。「HOP」で全体像をつかみ、「My Goal」を設定する。次に「STEP」で音に慣れ親しんだり伝え合ったりする活動を経て、「JUMP」で自分のことについて表現する流れとなっている。 ○「Sound Chant/Word Chant/Phrase Chant/Small Talk」や「ABC Fun Box」などで音を聞いて慣れ親しみながら習得していくことができる。 ○「ことばのふしぎ」コーナーでは、英語と日本語のちがい等についてわかりやすく丁寧に説明している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「JUMP PLUS+」には学びを更に深めていくためのコメントがある。 ○「Story Time」や「世界のお話」コーナーがある。内容を推測しながら聞いて理解する活動を通して、実際の場面でもコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unitの冒頭に「My Goal」を記入するスペースが設けられている。「HOP」で単元全体の学習を見通して自分で目標を立て、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 ○巻末にUnitごと、セクションごとの「Can Do List」がある。 ○Lesson 冒頭の「Panorama」で場面や状況、その課で扱う全体像を把握することができる。 ○「Hello, World」では異文化に対する理解が深められる題材や資料がある。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Tryの例示がイラスト入りでわかりやすい。場面や状況のイメージを持って表現活動に取り組むことができる。 ○「Let's Watch」や「Let's Listen」で十分に音に慣れ親しんだ後、「Let's Speak」や「Let's Play」、「Let's Talk」でペアやグループで伝え合う構成となっている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○別冊「MY Dictionary」の表記が見やすく、内容も充実している。索引がついているので、単語を見つけやすい。また「会話を続けるくふう」は授業でも役立つ。 ○ページの下部に英語に限らず色々な情報が載っている。教科等横断的視点で指導に活かすことができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字やイラストが見やすい。配色も落ち着いた。 ○「聞く/話す/読む/書く」のマークや他教科との関連、発展的な学習等が明示されている。 ○書く活動の手本が4線上に太字で書かれており、書き写しやすい。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○Unitは「HOP→STEP→JUMP」という流れで構成され、児童が自らのゴールを設定し、見通しを持って主体的に学習を進めることができる。 ○目的・場面・状況を意識した言語活動が設定されており、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ることができる。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">ONE WORLD Smiles</p>	<p style="text-align: center;">17</p> <p style="text-align: center;">教 出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Let's Listen」、「Sound and Letters」、「Read and Act」など、英語を聞いて理解を助ける活動が多く設定されており、自然に英語に慣れ親しむことができる。 ○「Let's Say It Together」や「Let's Sing」で単元に関わる表現に慣れ親しむことができる。 ○ゲーム的な活動が多く、楽しみながら学習を進めることができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Activity」はペアやグループで協力して取り組む活動となっている。 ○「Final Activity」は既習内容を使って自分のことについて自由に表現できる構成になっており、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育成することができる。 ○児童の興味・関心や経験等を発信できるような言語活動が設定されている。 ○「Think コーナー」に自由に書き込めるスペースがあり、自分の考えを整理したり友だちの考えを知ったりする一助となる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の冒頭に示されているゴールの型が統一されており、安心して学習に取り組むことができる。 ○「Final Activity」ではグループやクラスで1つの制作物を完成させる活動が効果的に設定されている。 ○単元の冒頭の「Let's Watch」で概要を捉え、「Think」で思考を促す問いに対して友だちと話し合う構成になっている。学習の見通しを持つとともに、興味関心を引き出す工夫がある。 ○巻頭の「Welcome to One World」に1年間の学習内容が示されており、見通しを持つことができる。 ○目標と振り返りがわかりやすく具体的に示されている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○たくさん英語を聞いて音に慣れ、理解した上でやり取りをし、発表するという構成になっている。身近な話題について表現する場面設定がされており、主体的に取り組める工夫がなされている。 ○導入の場面絵の映像資料が多く、日本と外国の文化に触れることができる。 ○単元末に振り返りの視点が具体的に示されており、3段階で自己評価することができる。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○名所・名物マップでは、5年生で日本全国を知り、6年生で世界に目を向ける構成になっている。 ○6年の巻末「知らない英語の言葉に出会ったら」では語彙や表現を調べる手立てが示されている。 ○6年生の巻末に「My Book」がついており、作成して学びの集大成とすることができる。 ○巻末のカード数やワークシートが多くあり、授業に活用できる。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○英語、日本語ともにユニバーサルデザインフォントが使われている。 ○書き込む部分が広くゆとりがある。 ○全体的に文字は小さめで、行間も狭い。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「Let's Watch/Sing/Listen」、「Activity」、「Final Activity」と、十分に音に慣れ親しんだ上で表現活動へとつなげていく過程が統一されており、児童が安心して取り組むことのできる構成になっている。 ○冒頭の「Welcome to One World Smiles」では、写真とともに1年間の学習の見通しが示されている。また、6年生の巻末の「My Book」を作成して総復習をし、中学生へと円滑に接続していくよう工夫されている。 	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">Here We Go!</h1>	38 光 村
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○単元の最初の「Story」で内容を推測し、「Let's Listen and Point」、「Let's Watch」、「Let's Listen」で主な表現に慣れ親しむ構成になっている。 ○「Let's Play」、「Let's Listen」で英語の音に慣れ親しんだり音声を聞き取って活動したりした後、「Let's Try」で実際に英語を使う活動へとつなげている。 ○各ページに「Let's Chant」や「Small Talk」が設定されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各単元は「Hop!」、「Step1,2」、「Jump!」から成り、それぞれの目標が明示されている。「Hop!」で単元のゴールの見通しを持ち、大まかな内容を捉える。「Step1,2」の映像や音声から場面や意味を理解し、「Jump!」で自分のことについて表現する活動になっている。 ○各ページの「About You」で各 Unit の話題を自分ごととして考えるヒントを与え、自分のことを表現しようとする意識を高めている。 ○「Let's Try」で友だちと対話したことを参考にしながら「Plus One」でプレゼンテーションする構成になっている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭の「5年生（6年生）でできるようになること」では、領域ごとに到達目標・関連する主な教材が示され、自己評価もできるようになっている。 ○1年間の学びを積み上げて巻末の「ALL ABOUT ME」を仕上げていく構成になっている。 ○年3回のまとめ「世界の友だち You can do it」では具体的な相手、目的、場面を意識しながら発信する活動となっている。 </p> <p> <聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○巻頭に「英語の学び方」や「いつも大切にすること」が示され、自分の考えを書き込み、学びの指標として学習に取り組めるように設定されている。 ○別冊「Picture Dictionary」の「心が通う受け答え」が活用しやすく良い。 ○「コミュニケーションで大切にしているポイント」が示されており、常に確認しながら学習を進めることができる。 ○別冊「Picture Dictionary」に Classroom English がわかりやすく示されている。 </p>	
資 料	<p> ○別冊の「Picture Dictionary」には、「3、4年生で触れた表現」や「5年生で学んだ表現」に足跡マークがついており、既習事項を確認することができる。 ○各学年とも8回の「アルファベットタイム」が設定されており、基本的な内容を確実に押さえることができる。 ○おすすめの絵本、単語や文の書き方、「言葉について考えよう」等の資料がある。 </p>	
表記・ 表現	<p> ○英語はオリジナルの書体が使用されており見やすい。日本語はユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ○教科書のサイズが小さくて軽い。 </p>	
総 括	<p> ○「聞く→チャンツによる練習→話す→読む・書く活動」へとスモールステップを積み重ねながら、自分のことを表現する活動へとつなげている。 ○各単元で学習した内容を使って自分のことを書き記していくことで、巻末の「ALL ABOUT ME」を完成させ、1年間の学びの集大成とすることができる。 </p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">BLUE SKY elementary</p>	<p style="text-align: center;">6 1</p> <p style="text-align: center;">啓林館</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元始めの「とびら」(Introduction、Watch the Scene)で全体像をつかんだり言語材料の使用場面を知ったりすることができる。その後「Step1,2,3」で語句や表現に十分に慣れ、まとめの活動の「Activity」につなげていく構成になっている。 ○「Chant」にイラストが効果的に示されており、取り組みやすい。 ○随所に添えられたネコの吹き出しのアドバイスが理解の一助になっている。 ○書き込めるスペースが多く、そのままワークシートとして使える。 ○書くときの決まりが丁寧に示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Activity」はペアやグループで活動し、友だちと協働できる内容が多い。 ○「Review」はモデルとなる音声を聞いて考え、自分なりの発表につなげる形式となっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の Goal や Step ごとの目標が具体的に示されており、見通しを持って取り組むことができる。 ○各 Unit の「Did You Know?」では世界の様子を知ることができる。クイズもあり、興味・感心を引き出す工夫がされている。 ○各 Unit の「Look Back」は、チェックを入れるだけで簡単に学習した内容を振り返ることができる。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各ページの下「Tips」がコミュニケーションを図る上でよいアドバイスとなる。 ○巻末に会話を楽しむフレーズ集がある。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に「Word List」がある。カード数が多く授業で活用できる。 ○5年生では日本の魅力に、6年生では世界各地の様子に目を向けるUnitがある。 ○6年生の巻頭に、教科書で扱う国が示された地図がある。 ○「コミュニケーションに大切なこと」が使用場面のイラスト入りでわかりやすく示されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインの配慮がなされている。また、全体的に配色が落ち着いた。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用しており、識別しやすい。 ○行間にゆとりがあり、文章が読みやすい。また消しやすい紙質を使用している。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○年3回の「Review」は、学習したことを使って相手意識を持って表現する「Try」と、与えられた情報を読み取る「Challenge」で構成されている。 ○各単元が、「とびら」で言葉を使う場面に触れ、「Step1,2」で音に慣れ親しみ、「Step3」でコミュニケーションを楽しみ、「Let's Read and Write」で「読む・書く」に挑戦する流れとなっている。 ○各Unitの「Did You Know?」では、児童の興味関心を引き出す工夫がなされている。クイズ等で楽しみながら外国の文化や生活に触れることができる。 	